

平成 28 年度消防防災航空隊長会議を開催

平成 28 年 6 月 9 日(木)～平成 28 年 6 月 10 日(金)の二日間に亘り、東京都（全国町村会館）において平成 27 年度消防防災航空隊長会議を開催いたしました。

例年、隊長会議の終了後、午後の時間に「総会」を開催していたところ、隊長会議の出席の隊長の多くが総会に代理出席して頂いている現状に鑑み、隊長会議と総会の合理化を図り、総会の出席負担の軽減を図る目的で隊長会議の初日の後半に「総会」を開催することといたしました。隊長会議等の日程は下記のとおりです。

【1日目 6月9日(木)】

13:35 ～ 挨拶 総務省消防庁広域応援室長 中井 幹晴 様

14:00 ～ 講演 「消防防災ヘリコプターの操縦士の養成・確保のあり方に関する検討会」
報告書概要等について

総務省消防庁広域応援室 航空専門官 前田 達也 様

15:10 ～ 事例発表 I 「平成 28 年 熊本地震について」

熊本県防災消防航空隊長 藤山 修一 様

16:25 ～ 平成 28 年度全国航空消防防災協議会 1 回総会

17:15 ～ 意見交換会

【2日目 6月10日(金)】

9:30 ～ 講演 II 「汚染疾病者の搬送について」

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

放射線医学総合研究所 被ばく医療センター 医長 富永 隆子 様

10:45 ～ 事例発表 II 「厳冬期における航空隊救助・救出活動について」

北海道防災航空隊長 小林 靖明 様

12:00 ～ 質疑応答 意見交換等

《隊長会議に参加して》 【アンケート結果より抜粋】

- ・国、他都市等の最新情報を共有出来たことは大変有意義であった。パイロットの確保及び養成計画等について今後も本会議等を通じて情報提供いただきたい。
- ・熊本県隊長のホットな情報、現在の気持ち等お話し頂き有意義でした。北海道隊長の細かな説明、参考になります。冬山は救助員の命も脅かします、改めて我が隊の装備、活動方法、要救助者への処置方法も再考します。
- ・全国の航空隊長と顔を合わせ、話ができる場はこの会議だけ。今回の講演は、全てが興味深く参考になった。
- ・熊本や北海道の実例紹介や反省点の教示等があり、府県の立場として航空受援計画の策定に参考となった。
- ・4月の人事異動でこれまで未知の世界であった“航空消防”の世界を経験しています。全国の航空隊長が一堂に集まり、課題・問題点を意見交換しながら共有しあう制度はすばらしく、顔の見える関係の構築が大災害発生時の各隊の連携に繋がると確信しました。
- ・今回の初日に「総会」を組み込んだ会議は効率が良い。近々の災害活動実績を有する航空隊からの報告は非常に有益。今回の熊本地震に係る事例発表のように当初予定にない講義でも変更追加の対応は有り難い。